

# 常なる磐

つねなる いわ season II

令和3年12月23日(木)

2021しめくくり号 その3

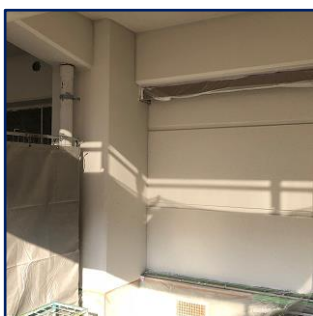
## ◇ 白亜の校舎⑧ 2022年に向けて

【常なる磐 season II】2021年の締め括りは、2022年に繋がる「白亜の校舎」。

ご覧のように、遠目に見る学校の外観は相変わらずのサティアンのような佇まいだが、わずかにのぞかせる隙間から、白亜の壁を確認できるようになった。



まずは体育館周辺から。



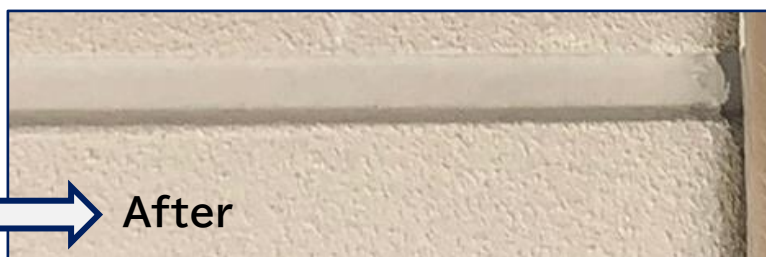
体育館壁面は3度塗り塗装のうちの1段階目、下塗りが終わったところだ。光の加減や影で分かりにくいですが、塗装前後の壁面を比較すると、その変容の様子がよく分かる。



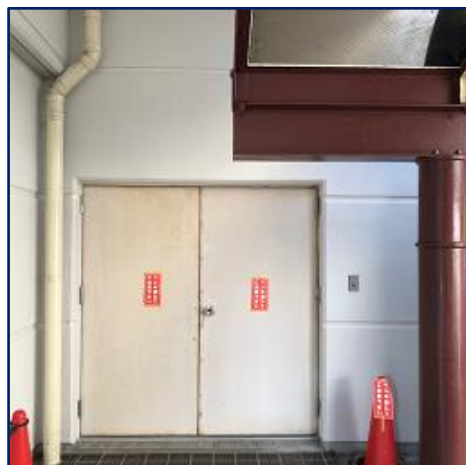
Before



After



続いて体育館通路から見た教室棟の壁面。



クリーム色に近い排水管と比べると壁面の白さが際立つ。

写真で見ると「スーパーホワイト」のように見えるが、実際はチョークのような白亜色。

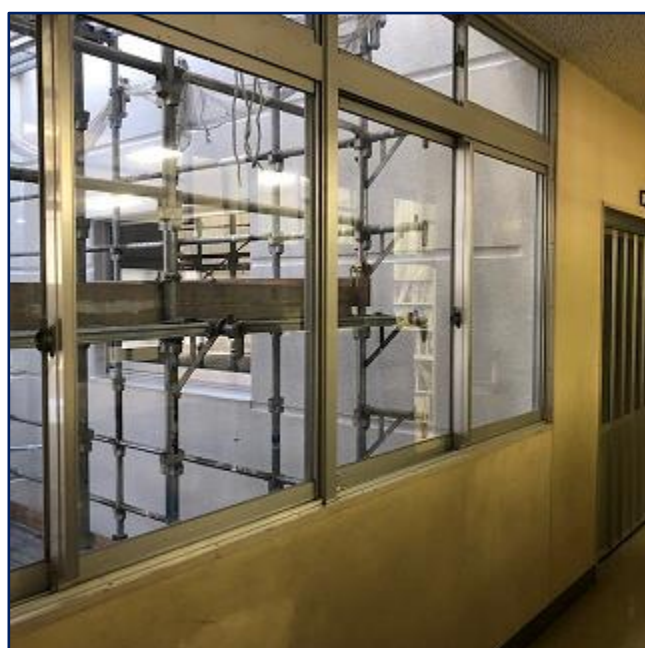
教室棟北側の給食搬入口は、大変身の場所である。



この2枚の写真は、実際に見える色に近い。北側に面したこの壁は、雨よけの庇の存在に加え、向かいにある山により、ほとんど陽があたらない。よってコケの繁殖が激しい。高圧洗浄機で除去したものの、その痕跡が

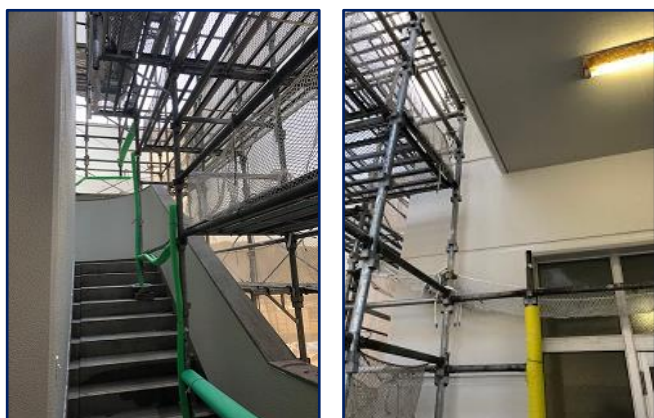
軒下のコンクリート側面に残る。以前はコケで紫色だった壁がよみがえった。

校舎北側の窓から見える景色はこんな感じ。



若干、角度は異なるものの、窓を開けて撮影した左写真と窓越しに撮影した右写真とでは大きな違いが確認できる。クリーム色の校舎内壁が驚くほど汚く見えるほどだ。経年劣化はあるものの、実際にはそれほど内壁は傷んでいないのだが。

最後は、校舎西側の非常階段をご覧いただきたい。



高圧洗浄で若干ましにはなった非常階段。コケの繁殖により、雨が降ると滑る階段、お化け屋敷のようだった壁は、もう見る影もない。これなら避難も安心だ。

教室棟のネット、足場の撤去近し。2022 早々には、全貌解禁。お楽しみに。